伊勢市廃棄物減量等推進審議会（平成28年度第1回）審議結果等

* 日時：平成28年6月29日（水）15時0０分から
* 場所：伊勢市役所東庁舎３階防災スペース
* 出欠：
	+ 委員：別紙のとおり
	+ 事務局

環境生活部長（坂本）、清掃課長（堀畑）、ごみゼロ推進係長（中野）、ごみゼロ推進係（東條）

* 審議結果等

事項書に記載の報告及び審議事項に関する事務局からの説明に対し、以下のとおり質疑応答及び審議が行われた。なお、単なる資料解釈に対する説明は省略している。

|  |
| --- |
| ●報告事項に対して |
| 委員1 | 燃えるごみで一番多く含まれるものは何か？ |
| 事務局 | 生ゴミです。他にも資源物が多く混入している。 |
| 委員2 | 資料1-1から。燃えるごみが目標に対して約7,000ｔ近く多い。また、資源物が目標に足りない量を積み上げると、約6,000ｔ近くになる。残りの分を燃えるごみで達成できれば、ほぼ概ね見通しどおり。計画通りに進めるべきである。 |
| 事務局 | 進めていきたい。 |
| 委員3 | 生ごみ処理機の補助金について。せっかく購入しても使用しなくなっている実態があると聞いた。生ごみ処理機を使用する意識が低下しているのではないか？ |
| 事務局 | 年間で100件近くの申請で推移している。生ごみ処理機補助金の制度を知らない方もみえるので、啓発していきたい。また、機械が高額であったり、コンポスト用などのように設置場所を選ぶものもあるが、継続していきたい。 |
| 委員3 | 以前からも話をしているが、一次発酵した堆肥の行き場所や、電気代がかかるなど、生ごみ処理機購入の阻害要因がある。堆肥とした時の行き場所を検討する必要があるのでは？また、焼却炉には水分が必要と聞いた。どうなのか？ |
| 事務局 | 水分が多いと、夏場などで炉温が低がり炉を痛める可能性がある。 |
| 委員4 | 夏場でも、現状はそんなに炉温は下がっていない。 |
| 委員3 | 以前、商工会議所でバイオマスの事業化の話が出た。その時は、微生物には水分が必要とのことでストップがかけられた。本当の所は実際にどちらなのか答えてほしい。 |
| 事務局 | 焼却炉はカロリーを元に設計している。極端に水分を減らすと、カロリーが著しく上昇し、炉が持たない可能性はある。なので、今の炉では確かに水分は必要。 |
| 事務局 | ごみ処理基本計画での目標は、水分10％削減を目指している。 |
| 事務局 | 基本計画策定時は、資源化27％、水分10％で計画している。すると、目標値に近づく。この後に審議するごみ分別読本でもそこは触れている。さらに、3Ｒの中でも特にリデュースが大事であると述べている。委員の中にも、率先していただいている。市としては、ステーションでも出し方が悪い地域、アパートなどでも出し方が悪い所などで、意識しない人に対して、してもらえるような対応を考えていきたい。 |
| 事務局 | ごみ減量化読本は、調べたい時に使う電話帳をイメージをしている。 |
| 委員4 | 以下の3点について聞きたい。1.　スプレー缶の事故についてさらに詳細に聞きたい2.　ごみがなかなか減らないことに対して、実務者としての本音を聞きたい。ざっくばらんに。3.　計画の見通しと現実が乖離している点について。実現可能なものが見通しである。実現できないものは、願望、希望、などである。本当に実現可能な状況なのか？ |
| 事務局 | （スプレー缶事故について説明。）次に、ごみが減らないことについて。資源の混入化、生ごみの水切り、ごみの排出抑制など、を進めていきたい。また、計画は高い目標を掲げている。それに向かって努力していきたいと考えている。 |
| 委員4 | 見通しとは実現できるものである。できないものを見通しにしても、頭打ちになる。願望と、見通しと、二本立てで考えるべき。どのように考えているのか？ |
| 事務局 | 見通しの表現については石原さんのご指摘どおり。ただ、現実化が難しい場合、次の手が必要となる。ごみ収集の有料化（現在はごみ袋の有料化）も議論されてきたが、市としてはちゃんと分別しない人に対して、啓発を行うことで目標に近づけていきたいと考えている。今年度は、出前授業などに特に力を入れている。大いに啓発を行い、市民の理解・協力を得られるようにしていきたい。 |
| 委員1 | 見通しと目指す形について議論するのは非常に大事なことであると考えている。 |
| 委員5 | ひとこと。もっと簡単に生ごみだけを分けて回収することはできないのか？もしくは、生ごみの袋だけを別売りにするなど、燃えるごみをひとくくりにしていることが問題である。また、事業所にも言いたい。過重包装しすぎである。もっと減らすように指導してほしい。 |
| 事務局 | 生ごみの分別について。バイオマス化については以前に商工会議所とも協議したが、実現が困難であった。分ける意識を持ってもらう |
|  | ことについては、検討していきたい。 |
| 委員5 | そこまで大きい話ではないが。生ごみは見える形で回収すべきであると考えている。また、ごみの出し方が悪いとシールを貼っても誰も持って帰らない。それよりは、良い出し方をする所を表彰するなど褒めることも検討すべき。 |
| 委員6 | 1.ごみ袋の有料化の効果が薄れているように感じる。さらなる有料化について、他の市町村を調査してみては？2.アパートなどは他に捨てる場所がない。自分は畑があり、花壇の草、土などは畑に持っていく。無い人は処理できない。環境の要因が大きい。畑を多く持つ地区には、「ごみを出さずに自分の畑で処理を!!」と呼びかけてみてはどうか？3.レジ袋有料化のマイバックのように、このままごみの減量化ができなければ、収集の有料化に移行すると脅しをかけてみては？4.自治会で行う粗大ごみの無料回収に女性団体として毎年参加している。そこで感じるのは、タンス類は減ったが、流行の”終活”の影響か、新品の布団が多く出されていてもったいないと感じた。隣の町内では、タンスは多かった。また、布団については介護施設などで利用できないか？「使えるもの」を回す仕組みを作れないものか？ |
| 事務局 | 県内では8市が粗大ごみの有料回収を行っている。ごみ袋の有料化については、リバウンドしている。収集の有料化はまだ先のことと認識しており、まずは分別の啓発からしていきたい。 |
| 委員7 | 自治会への働きかけが大事だと思う。自分の地域では、集積所に苗の箱が捨てられていた時など、町内放送で呼びかけたりして意識してもらった。中心地から遠い所は自治会の力が強い。市はそういう自治会の力を使って啓発を行うほうが良い。 |
| ●審議事項に対して |
| 委員2 | ①表紙について。市の主張を持ってくるべきだと思う。②市の主張の箇所が、ごみの排出量が多いのか少ないのか、それが良いことなのか悪いことなのか伝わらない。③プラスチック製容器包装について。汚れたチューブ類は、一人暮らしの人は洗う時間がない。燃えるごみに捨ててはだめなのか？④水切りの啓発もよいが、先の坂村委員の提案とおり、生ごみの日という回収日を設けても面白いのでは？ |
| 事務局 | ①、②については検討します。③については、洗うことで綺麗なものにして資源化してほしい。 |
| 委員6 | スプレー缶の出し方について。穴を開けて出すのもよいのか？ |
| 事務局 | 国からの通達を受けているので、穴を開けないで出してほしい。 |
| 委員3 | マイ箸の携帯について。衛生面で指摘があったように記憶している。 |
|  | 案内して問題ないのか？ |
| 事務局 | 一度、調査します。 |
| 委員7 | 自分の地区は高齢者ばかり。このガイドブックはどの年齢向けなのか？若い世代は忙しい人は分別は難しい。大勢の高齢者用に、もっと簡易なものを用意してほしい。この内容では高齢者は見ない。また、これからの時代は高齢者を中心に考えて。分別方法も抜本的に見直し、もっと簡単にする必要があるのではないか？ |
| 委員6 | 私は杉山委員とは逆に、子供向けのものを作ってほしい。子供向けの本のように、ルビがあるものも必要ではないのか？今流行の携帯電話で見れるものを、3タイプ作ってみては？ |
| 委員5 | 簡易なものは作るべきである。食生活からの観点からも必要と考える。捨て方（チューブ類は真ん中で切って洗うなど）の説明は入れるべきだと思う。 |
| 事務局 | 子供版、老人版、外国語版などは作成する方向で検討したい。また、捨て方についても特別版などを作るのも面白い。 |
| 委員6 | 口コミ情報などをワンポイントで入れるのも、内容が面白いものになると思う。 |
| 委員2 | 色の使い方には気をつけてほしい。特に赤は強い色である。色弱の方にも配慮すべき。赤の燃えるごみの説明ページでは、赤の注意書きは目立たない。もっと目立つ工夫が必要。 |
| 委員1 | 大学では最近、赤いチョークを使わなくなった。やはり、配慮は必要では？ |
| 事務局 | 色の使い分けについても検討します。 |
| 委員3 | オムツの捨て方について。軟便などもある。必ず汚物を取らないと出せないのか？介護の実態・施設なども含めて調査してから、記載してほしい。 |